

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動	
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項		
前期	4	じゅんばんに ならぼう	1	◎興味をもって、大事なことを落とさないように聞くことができる。(話・聞(1)エ, 伝国(1)イ(ア))	・進んで友達と声をかけ合ったり、聞こうとしたりしている。	【話・聞】 ・何の順に並ぶのかを、集中して聞いている。	・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	■声をかけ合って協力しながら目的に沿って並ぶ。	
		1 おはなしを 音読しよう							
		ふきのとう	10	◎「人物」をもとに役に分かれ、語のまとまりや響きに気をつけて音読することができる。(読(1)ア, 伝国(1)イ(カ)) ○場面の様子について、人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読むことができる。(読(1)ウ) ○本文中の文型を参考にして、つながりのある文を書くことができる。(書(1)ウ)	・物語を読み、音読のしかたを工夫しようとしている。	【読】 ・内容的なまとまり、繰り返しのリズムなどを楽しんで読んでいる。 ・時、場所、登場人物に注意して、おおまかな話の流れに気づいている。 【書】 ・絵を見て、つながりのある文を書いている。	・主語・述語のまとまりで読んでいる。	■音読する。 ※身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳・生活科)	
		春が いっぱい	2	◎春に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章に表すことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(ア))	・季節の動植物に関わる言葉を楽しんで探している。	【書】 ・春を感じた経験を思い出して、文章に書いている。	・季節の動植物や、季節を感じる言葉を探している。	■春を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。 ※身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳・生活科)	
		今週の ニュース	4	◎友達に知らせるために、身近な出来事から書くことを決め、出来事の様子や自分の気持ちを書くことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(ア)) ○書いたものを読み合い、感想を伝え合うことができる。(書(1)オ)	・身近なことを「ニュース」として捉え、みんなに知らせたいことを集めようとしている。	【書】 ・身近な題材を選び、必要に応じて、「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」などを入れて書くとともに、自分の気持ちも添えている。 ・友達のニュースを読み、感想を書いて伝えている。	・経験したことを伝える言葉の働きに気づいている。	■1週間の出来事などを知らせるニュースを書く。 ※出来事を書いて知らせる。(特別活動・生活科) ※学校生活、身近な自然、季節の行事などに目を向けさせる題材(生活科)	
		2 じゅんじょに 気をつけて 読もう							
5	たんぼぼの ちえ	10	◎時間の順序や理由を表す言葉に着目し、様子とそのわけを考えながら説明的な文章を読むことができる。(読(1)イ, 伝国(1)イ(ウ)) ◎大事な言葉や文を書き抜き、経験と結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。(読(1)エ・オ)	・時間の順序に沿って、説明的文章を読もうとしている。	【読】 ・季節を表す言葉、日にち、時間を表す言葉に着目して読んでいる。 ・大事な言葉や文を書き抜き、感じたことや思ったことを書き添えている。	・順序を表す言葉を理解している。 ・理由を表す文末表現に気づいている。	■植物の生態について書かれた文章を読む。 ※身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(生活科)		

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	5	かん字の ひろば①	2 書②	◎1年生に配当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ○絵に描かれた島の様子を想像して、句読点の使い方に気をつけて、文を書くことができる。(書(1)ウ, 伝国(1)イ(オ))	・提示された言葉を使って、文を書こうとしている。	【書】 ・語と語を適切につないで文を書いている。	・句読点を正しく使って文を書いている。 ・提示された漢字を正しく使って文を書いている。	■絵を言葉で説明する。
	3 ていねいに かんさつして, きろくしよう							
		かんさつ名人に なるう	1 4 書⑭	◎丁寧に観察し, 気づいたことや分かったことを集めることができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(ア)) ○観察対象の様子や自分の気づきなどが相手に伝わるように, 題名をつけ, 工夫して書くことができる。(書(1)イ) ・書いたものを読み合い, よいところを見つけて感想を伝え合うことができる。(書(1)オ)	・身近なものに関心を持ち, 動きや様子がよく伝わるように書こうとしている。	【書】 ・詳しく観察し, 書くために必要な事柄を集めている。 ・順序に気をつけて, ものの様子や自分の考えを書いている。 ・友達の文章のよいところを見つけて伝え合っている。	・観察したことが言葉によって伝えられることに気づいている。	■観察したことを記録する。 ※育てている生きものや植物を観察し, 分かったことなどを記録する。(生活科) ※身近な動植物の変化や成長の様子への関心を育む題材(生活科・道徳)
6	いなばの 白うさぎ	2 伝国②	◎人物の行動を中心に場面の様子を想像しながら, 神話の読み聞かせを聞くことができる。(読(1)ウ, 伝国(1)ア(ア)・イ(カ))	・場面の様子を想像しながら読み聞かせを楽しもうとしている。	【読】 ・登場人物の行動を捉え, 場面の様子を想像している。	・主語と述語の関係に注意して, 神話の読み聞かせを聞いている。	■神話の読み聞かせを聞く。 ※郷土への愛着を養う題材(道徳) ※関連読書(図書館活用)	
	かたかなの ひろば	2 書②	◎片仮名を読んだり, 書いたりすることができる。(伝国(1)ウ(ア)) ○「何が」「どうする」が整った文を書くことができる。(書(1)ウ)	・提示された片仮名を読み, それが示すものを, 楽しみながら絵の中から探そうとしている。	【書】 ・主語と述語の整った文を書いている。	・片仮名を正しく使っている。	■絵を表す文を書く。	
	ともさんは どこかな	4 話・聞④	◎話の内容に興味をもち, 大事なことを聞き落とさないようにしながら, 聞くことができる。(話・聞(1)エ) ○必要な事柄を選び, 声の大きさや速さに注意して, はっきりと話すことができる。(話・聞(1)ウ) ○アクセントによる語の意味の違いなどに気づくことができる。(伝国(1)イ(イ))	・大事なことは何かを考えながら, 聞き取り学習に楽しく参加しようとしている。	【話・聞】 ・大事なことが伝わるように, 順序や発音・発声を意識して話している。 ・何が大事なことなのかを理解し, 大事なことを落とさないように, メモを取りながら聞いている。	・平仮名で書くと同じ言葉でも, アクセントによって指すものが異なる言葉があることを理解している。	■大事なことを聞き取り, メモを取る。 ■必要なことについて身近な人と連絡し合う。 ※必要なことについて, 身近な人と連絡し合う。(日常生活)	

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	6	同じ ぶぶんを もつ かん字	2 伝国②	◎漢字には、同じ部分をもつものがあることを知り、部分に注意して漢字を読んだり書いたりすることができる。(伝国(1)ウ(ウ))	・漢字の同じ部分に関心を持ち、既習の漢字から共通部分を見つけ出そうとしている。		・同じ部分をもつ漢字を意識して、読んだり書いたりしている。	
	4 お話を 読んで、かんそうを 書こう							
		スイミー	10 読⑨、書①	◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、それをもとに感想を書くことができる。(読(1)エ・オ、伝国(1)イ(ウ)) ○人物の行動や場面の様子などについて、想像を広げながら読み、感想を書くことができる。(読(1)ウ) ・様子を表す言葉を使って文を書くことができる。(書(1)ウ)	・主人公の行動や会話に注意しながら物語を読み、感想を書こうとしている。	【読】 ・登場人物の行動や会話から、場面の様子について理解している。 ・大事な言葉や文を書き抜いて、感想を書いている。 ・自分の気持ちに合う言葉で感想をもち、どうして、その感想をもったかを理解している。 【書】 ・たとえを表す言葉を使い、語のつながりに気をつけて文を書いている。	・感想を表す言葉を使っている。	■物語を読んで、感想を書く。
		かん字の ひろば②	2 書②	◎1年生に配当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ・絵から、学校の様子を想像し、語と語の続き方に気をつけて文を書くことができる。(書(1)ウ) ・助詞の「は」「を」を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)イ(エ))	・絵を見て想像を広げて、文を書こうとしている。	【書】 ・語と語を適切につないで、文を書いている。	・助詞「は」「を」を正しく使って、文を書いている。 ・提示された漢字を正しく使って、文を書いている。	■絵を見て説明する。
	7	こんな もの、見つけたよ 【コラム】丸、点、かぎ	8 書⑧	◎「初め」「中」「終わり」を意識して、自分の思いを書くことができる。(書(1)イ) ◎書いたものを読み合い、感想を伝え合うことができる。(書(1)オ) ○文の意味が明確になるように語句や文のつながりを考えて書くことができる。(書(1)ウ、伝国(1)イ(オ)(カ))	・知らせたいことを、興味をもって取材し、文章にまとめようとしている。	【書】 ・構成を意識し、書く事柄の順序を整理して、書いている。 ・語句や文のつながりに気をつけて書いている。 ・友達の文章を読んで、感想を伝え合っている。	・句読点やかぎの使い方を理解して文章の中で使っている。 ・主語と述語の関係に注意して文を書いている。	■知らせたいことについて、組み立てを考え、文章にまとめる。

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	7	うれしい ことば	2 書②	◎人をうれしい気持ちにさせる言葉の働きに気づくことができる。(伝国(1)イ(ア)) ○経験したことから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を選ぶことができる。(書(1)ア) ・語と語や文と文の続き方に注意して書くことができる。(書(1)ウ)	・言われてうれしかった言葉とそのときのことを思い出そうとしている。	【書】 ・自分の経験を思い出して書いている。 ・語と語や文と文の続き方に注意して書いている。	・言葉には、人を喜ばせたり、うれしい気持ちにさせたりする働きがあることを理解している。	※自分や友達がふだん使っている言葉について意識させる題材(日常生活)
	本はともだち							
		お話クイズをしよう ミリーのすてきなぼうし 【コラム】本の分けかた・ならべかた	6 読⑥	◎お話クイズを作るという目的をもって本や文章を選んで読むことができる。(読(1)カ) ○場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。(読(1)ウ) ・語句を変えることで、言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ))	・クイズを作るために、興味をもって本を読もうとしている。	【読】 ・登場人物の行動を中心に場面の様子を想像しながら読んでいる。 ・お話クイズを作るという目的をもって、本を選んで読んでいる。	・語句を変えることによって、言葉には意味のまとまりがあることに気づいている。	■お話クイズをする。 ※読書活動(図書館活用)
		かん字のひろば③	2 書②	◎1年生に配当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ・絵に書かれている漢字と言葉を使い、1週間の出来事を文で書くことができる。(書(1)ウ)	・提示された漢字と言葉を使って1週間の出来事を考え、楽しんで文を書こうとしている。	【書】 ・語と語を適切につないで、文を書いている。	・提示された漢字を正しく使って、文を書いている。	■絵を説明する文を書く。
		夏がいっぱい	2 書②	◎夏に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章に表すことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(ア))	・季節の動植物に関わる言葉を楽しんで探している。	【書】 ・夏を感じた経験を思い出して、文章に書いている。	・季節の動植物や、季節を感じる言葉を探している。	■夏を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。 ※身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳・生活科)
	8	おおきなあれ	2 読②	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて詩を音読することができる。(読(1)ア) ・擬態語があることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ))	・言葉の響きを楽しみながら、いろいろな読み方を工夫して音読しようとしている。	【読】 ・繰り返しや、擬態語の音の響きを楽しみながら音読している。	・擬態語があることに気づいている。	■音読して、詩を楽しむ。

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動	
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項		
前期	8	大すきなもの, 教えたい	5 話・聞⑤	◎伝えたいことについて, 必要な材料を集め, 話す順序を考え, 丁寧な言葉遣いで話すことができる。(話・聞(1)ア・イ, 伝国(1)イ(ア)) ・一音一音を, はっきりと発音し, 相手に届く音量で話すことができる。(話・聞(1)ウ)	・大好きなものを伝えようとしている。	【話・聞】 ・伝えたいことについて, 必要な事柄を集めている。 ・話す順序を考えて, 敬体を使って話している。 ・みんなに聞こえる声で話している。	・事物の内容を表したり, 経験を伝えたりする言葉の働きに気づいている。	■伝えたいことを発表する。 ※伝えたいことについて, 話す事柄や順序を考えて発表する。(日常生活)	
	9	カンジーはかせの大はつめい	2 伝国②	◎クイズを通して, 漢字の構成や熟語について理解することができる。(伝国(1)ウ(ウ))	・漢字に興味をもち, いろいろな面から考えようとしている。		・漢字クイズに提示された漢字を, 正しく読んだり書いたりしている。	■漢字クイズをする。	
		ことばあそびをしよう	1 伝国①	◎平仮名を組み合わせて, 意味のある言葉を作ることができる。(伝国(1)イ(イ)) ○意味のまとまりに気をつけて, 声に出して読むことができる。(伝国(1)イ(イ)(ウ))	・折り句を作ったり, 言葉遊びの詩を音読したりして楽しもうとしている。		・音節と文字の関係やアクセントによる語の意味の違いに気づいている。	■折り句や言葉遊びの詩を楽しむ。	
	5 読んで考えたことを 話そう								
			どうぶつ園のじゅうい	1 2 読⑨, 書③	◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜き, 自分の知識や経験と結びつけて感想をまとめ, 発表し合うことができる。(読(1)エ・オ, 伝国(1)イ(ウ)) ○時間的な順序を考えながら獣医の仕事やそのわけを読み取ることができる。(読(1)イ) ○条件に沿って, 経験したことをもとに書くことを決め, 簡単な構成の文章を書くことができる。(書(1)ア・イ)	・自分の知っていることと結びつけて説明的な文章を読もうとしている。	【読】 ・何について, どのようなことが, どのような順序で述べられているかを理解している。 ・自分の考えをもつために, 大事な言葉や文を書き抜いている。 ・知識や体験と比べて感想をまとめている。 【書】 時間の順序に沿って, 自分のしたことが分かるように書いている。	・時間の順序を表す言葉を理解している。	■説明的な文章を読んで, 考えたことを話す。 ※働くことの価値や意味を理解する精神を養う題材。身近な動物に優しい心で接する態度を養う題材 (道徳)
後期	10	1 音読げきをしよう							
		お手紙	1 2 読⑩, 書②	◎場面の様子について, 登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み, 声の出し方などを工夫して音読劇をすることができる。(読(1)ア・ウ, 伝国(1)イ(カ))	・自分が感じた物語のおもしろさが伝わるように, 音読劇をしようとしている。	【読】 ・人物の様子や気持ちを想像し, 物語の様子が伝わるように工夫して音読している。	・主語と述語の関係を理解している。	■音読劇をする。 ※手紙を書く。(生活科) ※関連読書 (図書館活用)	

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	10			○手紙を書く楽しさを知り、物語の登場人物に言ってあげたいことを手紙に書くことができる。(書(1)ア・イ) ・物語を読み、自分の経験と結び付けて、感想を発表し合うことができる。(読(1)オ)		・登場人物の行動や出来事から場面の様子を想像し、お気に入りの場面を見つけている。 ・自分の音読と友達の音読を聞き比べて、感想を深めている。		
		主語と述語	2 伝国②	◎読み物や、自分がこれまでに書いてきたものにも主語・述語があることに気づき、文の中や生活の中での主語・述語の関係を理解することができる。(伝国(1)イ(カ))	・主語と述語の関係とその役割に興味をもち、身近な文章から主語と述語を見つけ出そうとしている。		・文が主語と述語で構成されていることを知り、読むときや話すとき、書くときには、主語と述語のつながりが大切であるということを理解している。	
		かん字の読み方	2 伝国②	◎漢字にはいろいろな読み方をするものがあることを理解し、文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ))	・同じ漢字でも違う読み方をするものがあることに興味をもち、読み方を確かめようとしている。		・いろいろな読み方をする漢字があることを知り、送り仮名を考えて、正しく読みだり書いたりしている。	
		秋がいっぱい	2 書②	◎秋に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章を表すことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(ア))	・季節の動植物に関わる言葉を楽しんで探している。	【書】 ・秋を感じた経験を思い出して、文章に書いている。	・季節の動植物や、季節を感じる言葉を探している。	■秋を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。 ※身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳・生活科)
		2 まとまりに分けて、お話を書こう						
			お話のさくしゃになろう	10 書⑩	◎絵を見て想像したことから書くことを決め、「初め」「中」「終わり」のまとまりのある短い物語を書くことができる。(書(1)ア・イ) ○物語を読み合い、感想を交流することができる。(書(1)オ) ・書いた物語を読み返して、誤字・脱字を直したり、句読点、助詞、かぎの使い方を直したりすることができる。(書(1)エ, 伝国(1)イ(エ)(オ))	・絵から想像を広げ、どんなお話にするか、楽しんで考えようとしている。	【書】 ・登場人物を設定し、出来事や会話を想像してお話にまとめている。 ・「初め」「中」「終わり」を考えて、物語を構成している。 ・読み返し、間違いに気づいたところを直している。 ・物語を読み合い、感想を伝え合っている。	・句読点や助詞、かぎを正しく使っている。
	11							

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動	
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項		
後 期	1 1	かたかなで書くことば	2 書②	◎片仮名で書く言葉の種類を知り、片仮名を使った文を書くことができる。(書(1)ウ, 伝国(1)ウ(ア))	・片仮名で書く言葉に興味をもち、片仮名で表す言葉をたくさん集めようとしている。	【書】 ・主語・述語の整った文を書いている。	・片仮名で書く言葉の種類を理解し、片仮名を正しく使っている。	■片仮名を使った文を作る。	
	3 せつめいのしかたに 気をつけて読もう								
			しかけカードの作り方	6 読⑥	◎順序を考えて教材文を読み、説明のしかたについて考えることができる。(読(1)イ) ○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ))	・しかけカードの作り方に興味をもち、どのように書かれているかを整理しようとしている。	【読】 ・手順や事柄の順序などに気づいて読んでいる。 ・写真と文を照応させながら読んでいる。	・順序を表す言葉や表現の意味を理解している。	■物の作り方を説明した文章を読む。 ※遊びに使う物を工夫して作ることに目を向けさせる題材(生活科) ※関連読書(図書館活用)
			おもちゃの作り方	6 書⑥	◎説明の順番を考え、言葉のまとまりに気をつけながら文章を書くことができる。(書(1)イ・ウ, 伝国(1)イ(ウ)) ○文章を読み返し、間違いなどを直すことができる。(書(1)エ) ・おもちゃの作り方の説明書を書くために、必要となる事柄を集めることができる。(書(1)ア)	・学習したことを生かし、分かりやすくおもちゃの作り方を説明しようとしている。	【書】 ・説明書を書くために必要な事柄を集めている。 ・内容のまとまりを考え、手順に沿って書いている。 ・絵と対応させながら、文のつながりを意識して書いている。 ・書いた説明書を読み返し、間違いなどを正している。	・まとまりを意識して、順序を表す言葉を用いている。	■絵と文で作り方を説明する。 ※絵と文で、物の作り方を説明する。(生活科・日常生活) ※遊びに使う物を工夫して作ることに目を向けさせる題材(生活科・図画工作)
	4 組み立てを考えて、はっぴょうしよう								
	1 2	あったらいいな、こんなもの	1 4 話・聞⑭	◎自分が考えた道具について、相手に分かるように、話す事柄の順序を考え、声の大きさや速さなどに気をつけて、丁寧な言葉で話すことができる。(話・聞(1)ア・イ・ウ, 伝国(1)イ(ア)) ・大事なことを聞き落とさないように気をつけながら友達の話聞き、感想を述べたり、質問をしたりすることができる。(話・聞(1)エ) ・互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うことができる。(話・聞(1)オ)	・相手に分かるように話したり、友達の考えたものについて聞こうとしたりしている。	【話・聞】 ・身近なところから想像を広げ、説明のために必要なことを考えている。 ・相手に分かりやすいよう話す順序を考え、発表している。 ・声の大きさ、速さ、顔の向きなどに注意して話している。 ・友達の話聞き、質問をしたり、感想を述べたりしている。 ・目的を考えてやり取りをしている。	・事物の形や働きを表す言葉の働きに気づいている。	■尋ねたり応答したりする。 ■自分の考えた事物の説明をしたり、説明を聞いて感想を述べたりする。 ※伝えたいことについて、話す事柄や順序を考えて発表する。(日常生活)	

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1 2	にた いみのことば, はんたいのいみ のことば	2 伝国②	◎類義語や対義語に興味をもち, 言葉には, 意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 (伝国(1)イ(ウ))	・日頃使っている言葉の中から, 類義語と対義語を見つけようとしている。		・言葉には, 意味による語句のまとまりがあることに気づき, 類義語と対義語を集めている。	
	5 じんぶつと自分を くらべて読もう							
		わたしはおねえさん	1 0 読⑩	◎登場人物の行動を捉えて想像を広げながら読み, 自分の経験と結び付けて, 感想をもつことができる。(読(1)ウ・オ, 伝国(1)イ(カ)) ・文章の中の大事な文や言葉を書き抜き, あらすじをまとめることができる。(読(1)エ)	・登場人物と自分を比べたり, 重ねたりしながら, 興味をもって物語を読もうとしている。	【読】 ・時, 場所, 人物, 出来事などに注意して, 物語の大筋を読み取っている。 ・心に残った言葉や文を書き抜き, 自分の経験を思い出し, 登場人物と似ているところや近いところ, 違うところを見つけている。 ・自分の感想の中心が明確になるように, 文章から大事な文や言葉を選び, お話の流れが分かるあらすじをまとめている。	・主語と述語の関係に注意して, 文章を読んでいる。	■あらすじを紹介する。
		かん字の広場④	2 書②	◎1年生に配当されている漢字を文中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ・数を表す言葉を使って, つながりのある文を書くことができる。(書(1)ウ)	・数を表す言葉を使って, 楽しみながら算数の問題を作ろうとしている。	【書】 ・語と語のつながりや数詞に気をつけながら, 算数の問題を作っている。	・提示された漢字を正しく使って, 文を書いている。	■絵と対応する文を書く。
		冬がいっぱい	2 書②	◎冬に関わる言葉を探し, 自分の経験と結び付けて文章に表すことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(ア))	・季節の動植物に関わる言葉を楽しんで探している。	【書】 ・冬を感じた経験を思い出して, 文章に書いている。	・季節の動植物や, 季節を感じる言葉を探している。	■冬を感じる言葉を探し, 経験を文章に表す。 ※身近な自然に目を向け, 親しみをもつことを促す題材(道徳・生活科)
	1	てのひらを太陽に	2 読②	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて, 詩を音読することができる。(読(1)ア, 伝国(1)イ(ア))	・詩に書かれた内容や, 言葉のリズムを楽しみながら音読しようとしている。	【読】 ・語のまとまりや言葉の響きを意識しながら, 音読している。	・詩の中の言葉について, その印象を別の言葉を使って表している。	■詩を音読する。
	ようすをあらわすことば	4 書②, 伝国②	◎さまざまな様子を表す言葉について知り, 言葉への興味を広げることができる。(伝国(1)イ(ア)(ウ)) ・語と語のつながりに注意して, 文を書くことができる。(書(1)ウ)	・様子を表す言葉に興味をもち, さまざまな表現を探そうとしている。	【書】 ・様子を表す言葉を適切に使って, つながりのある文を書いている。	・3種類の様子を表す言い方を知り, その使い方を理解している。		

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1	見たこと, かんじたこと	5 書⑤	◎経験したことから書く題材を決め, 教科書の例を参考に, 短い詩を書くことができる。(書(1)ア) ・言葉には, 意味による語句のまとまりがあることに気づき, 詩の中で適切に使うことができる。(伝国(1)イ(ウ))	・経験したことを短い詩に表そうとしている。	【書】 ・必要な事柄を集めて, 経験したことを詩に表している。	・心の動きを的確に表す言葉を探して, 詩の創作に生かそうとしている。	■詩を創作する。
		三まいのおふだ	1 読①	◎興味をもって読み聞かせを聞き, 登場人物の行動を中心に想像を広げ, 感想を伝え合うことができる。(読(1)ウ・オ, 伝国(1)ア(ア)・イ(カ))	・場面の様子を想像しながら, 読み聞かせを楽しもうとしている。	【読】 ・登場人物の行動を捉え, 場面の様子を想像しながら読み聞かせを聞いている。 ・お話の中でいちばんおもしろかったことを伝え合っている。	・楽しみながら昔話の読み聞かせを聞いている。 ・主語と述語の整った文で感想を伝え合っている。	■昔話の読み聞かせを聞く。
	6 知っていることとつなげて読もう							
			おにごっこ	10 読⑩	◎身近な遊びを説明する文章を読み, 自分の経験と結び付けて, 思いや考えを発表することができる。(読(1)オ) ◎説明の順序にしたがって文章を読み, 書かれている内容を整理することができる。(読(1)イ) ・人の動きを表す言葉に気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ))	・身近な遊びの様子を思い出しながら, 説明的な文章を読もうとしている。	【読】 ・文章の中から, 問いとそれに対応する答えを見つけて, 表に整理している。 ・自分の経験と書かれていることとを比べながら文章を読んでいる。	・人の動きを表す言葉を理解している。
2		かん字の広場⑤	2 書②	◎1年生に配当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ○絵を見て主語と述語のつながりに気づいて文を書くことができる。(書(1)ウ, 伝国(1)イ(カ))	・提示された漢字を使って, 絵に描かれた公園の様子を詳しく文に書こうとしている。	【書】 ・語と語のつながりに気づけて, 文を書いている。	・主語と述語の関係に気づけて, 文を書いている。 ・提示された漢字を正しく使って, 文を書いている。	■絵を説明する文を書く。
		みんなできめよう	8 話・聞⑧	◎互いの話を注意して聞き合い, 話題に沿って話し合うことができる。(話・聞(1)オ) ○考えを伝える言葉の働きに気づくことができる。(伝国(1)イ(ア))	・話し合っって何かを決めるときに, 気づけることを考えようとしている。	【話・聞】 ・話題について, 自分の考えをもって発表している。 ・友達の話最後まで聞き, 自分の意見に理由を添えて発言している。 ・話し合いのルールに沿って, 自分の考えを積極的に発表している。	・考えたことを伝える言葉の働きに気づいている。	■グループで話し合っって考えをまとめる。 ※話題に沿って話し合い, 考えを一つにまとめる。(特別活動・学校行事)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	2	なかまのことばとかん字	2 伝国②	◎仲間の言葉や漢字を知り、意味のまとまりに着目して、言葉を集めたり、仲間分けをしたりすることができる。(伝国(1)イ(ウ))	・言葉の仲間分けに興味をもち、漢字と関係づけて覚えようとしている。		・言葉には同類のもの、反対になるものなどがあることを知り、漢字を正しく使っている。	
	7 お話を、そうぞうしながら読もう							
		スーホの白い馬	1 2 読⑫	◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。(読(1)ウ) ○物語から心に残った言葉や文を書き抜き、自分の経験と結び付けて、感想をまとめ、交流することができる。(読(1)エ・オ) ・複合語の語感や意味の違いに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ))	・想像を広げて読むことの楽しさに気づき、物語を読もうとしている。	【読】 ・登場人物の行動から、場面の様子を想像して読んでいる。 ・物語を読んで心に強く残ったことを書き抜き、感想をまとめている。 ・初めの感想と詳しく読んだ後の感想を比べ、感想の変化に気づいている。	・複合語の語感の違いに気づいている。	■場面の様子を想像しながら物語を読む。 ※世界の文化や風土などへの理解、国際協調の精神を養う題材(道徳) ※関連読書(図書館活用)
	3	ことばを楽しもう	1 伝国①	◎回文を楽しみ、言葉のおもしろさに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ))	・回文の楽しさに気づき、楽しんで回文を音読しようとしている。		・教科書の回文に隠れている語に気づき、回文の仕組みに気づいている。	■回文遊びを楽しむ。
	8 できごとや気持ちがつたわるように書こう							
	楽しかったよ、二年生	1 4 書⑭	◎2年生の思い出の中から書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。(書(1)ア) ○楽しかったことの方が明確になるように、「初め」「中」「終わり」の構成でまとまりのある文章を書くことができる。(書(1)イ・ウ) ○長音・拗音・促音・撥音などの表記や、助詞や句読点の使い方に気をつけて、文章を推敲することができる。(書(1)エ, 伝国(1)イ(エ)(オ))	・2年生の生活を振り返り、楽しかったことやがんばったことを思い出し、文章に書き表そうとしている。	【書】 ・ノートを見たり、友達と話し合ったりして、書きたい題材に必要な事柄を集めている。 ・「初め」「中」「終わり」の構成で文章を書いている。 ・文と文のつながりに気をつけて書いている。 ・文章を声に出して読み返し、読みにくい部分や間違いを書き直している。	・助詞や句読点、かぎを正しく使っている。	■経験したことを報告する文章を書く。 ※1年間の生活を振り返り、楽しかったことやがんばったことを思い出し、経験を報告する文章を書く。(特別活動) ※自分の成長を振り返り、できるようになったことなどを実感させる題材(生活科)	
学習指導要領の配当時数			3 1 5					予備時数 4 0
国語の配当時数			2 4 0					
書写の配当時数			3 5					